

9月8日に発生した台風第9号による被害状況と当企業団の現況について

1 被害状況

平成22年9月8日に本州に上陸した台風第9号により、酒匂川の上流水源域である神奈川県山北町や静岡県小山町等では、土砂崩れや護岸決壊等の被害が広範囲にわたり発生し、三保ダム(丹沢湖)へも大量の土砂や流木が流入しました。

また、下流部に位置する当企業団の飯泉取水堰では、9月8に過去最大の流量(3,300 m³/s)を記録しました。これに伴い、河川を流れる大量の塵芥によって取水口部に設置されている除塵機が故障し、取水口を塵芥が塞いだこと等により、約13時間の取水停止を行いました。(※断水被害はありません。)

① 丹沢湖(水源地)の被害状況(一部)

(9/8 台風通過直後) 丹沢湖に大量に流入した流木



(10/21 撮影) 丹沢湖



② 飯泉取水堰付近の被害状況(一部)と河川(濁水)状況 被害状況(9/8 台風通過直後)

取水口付近と破損した除塵機(右側)



取水堰付近の増水



2 企業団の現況

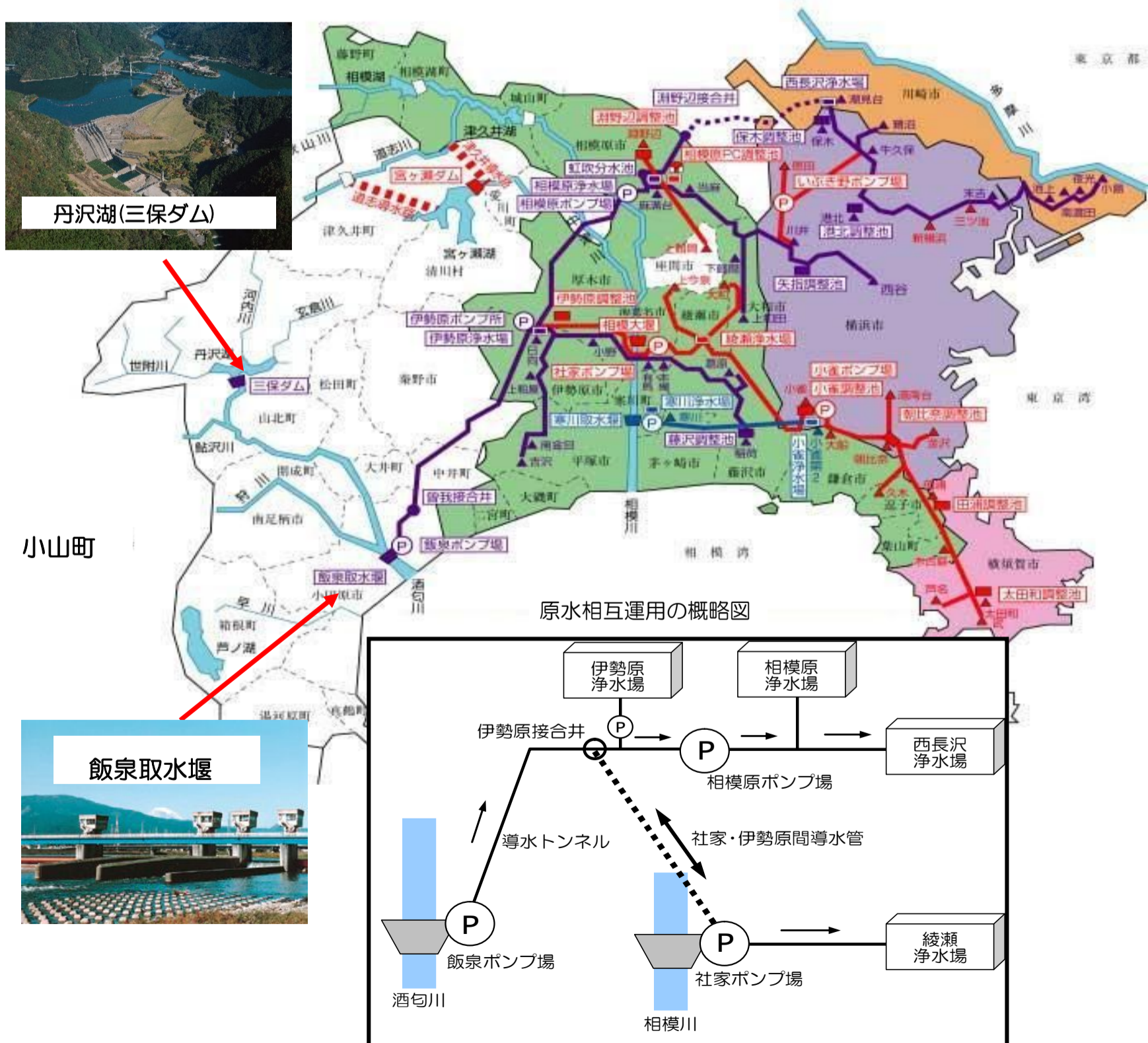
飯泉取水管理事務所では、台風第9号の影響により、酒匂川上流域から大量の土砂が堰湛水域及び取水口周辺に流入・堆積した結果、必要な取水量の確保に支障が生じております。

必要な取水量を確保し、県・市民の皆様へ安定的に水道水を供給するため、河川管理者（国土交通省）及び神奈川県等関係機関のご協力を得て、水運用上の措置とともに堰に堆積した土砂の移動作業を実施しています。

① 主な水運用上の措置

企業団では、災害等緊急時においても安定給水を維持できるよう相模川水系の社家地点と酒匂川水系の伊勢原浄水場直下の導水路との間に、導水管を布設し、両水系の原水を相互に導水可能なシステムを備えています。

飯泉取水堰における取水が安定的に実施できるまでの間、相模川原水の一定量を酒匂川水系導水路へ導水する水量を増量することなどにより、日々、安定給水に努めています。



② 飯泉取水堰における堆積土砂の移動作業

飯泉取水堰上流の川の流れは、河川内に堆積した土砂の影響などで取水口に集中しているため、川の流れに沿って、絶えず土砂が取水口に移動してきています。



通常は堰のゲート操作により、適宜、土砂の移動作業を実施していますが、堰下流への影響を勘案し、作業に伴って発生する濁りを抑制するため、平成23年1月以降、次のとおり緊急的な作業を実施しています。

○ 平成23年1月25日（火）実施分

（作業内容）

取水口前部に堆積した約200立方メートルの土砂を重機により浚渫し、浚渫した土砂は、取水堰上流左岸の河川敷仮置場へ移動しました。

取水口の堆積土砂移動作業（作業前・後）

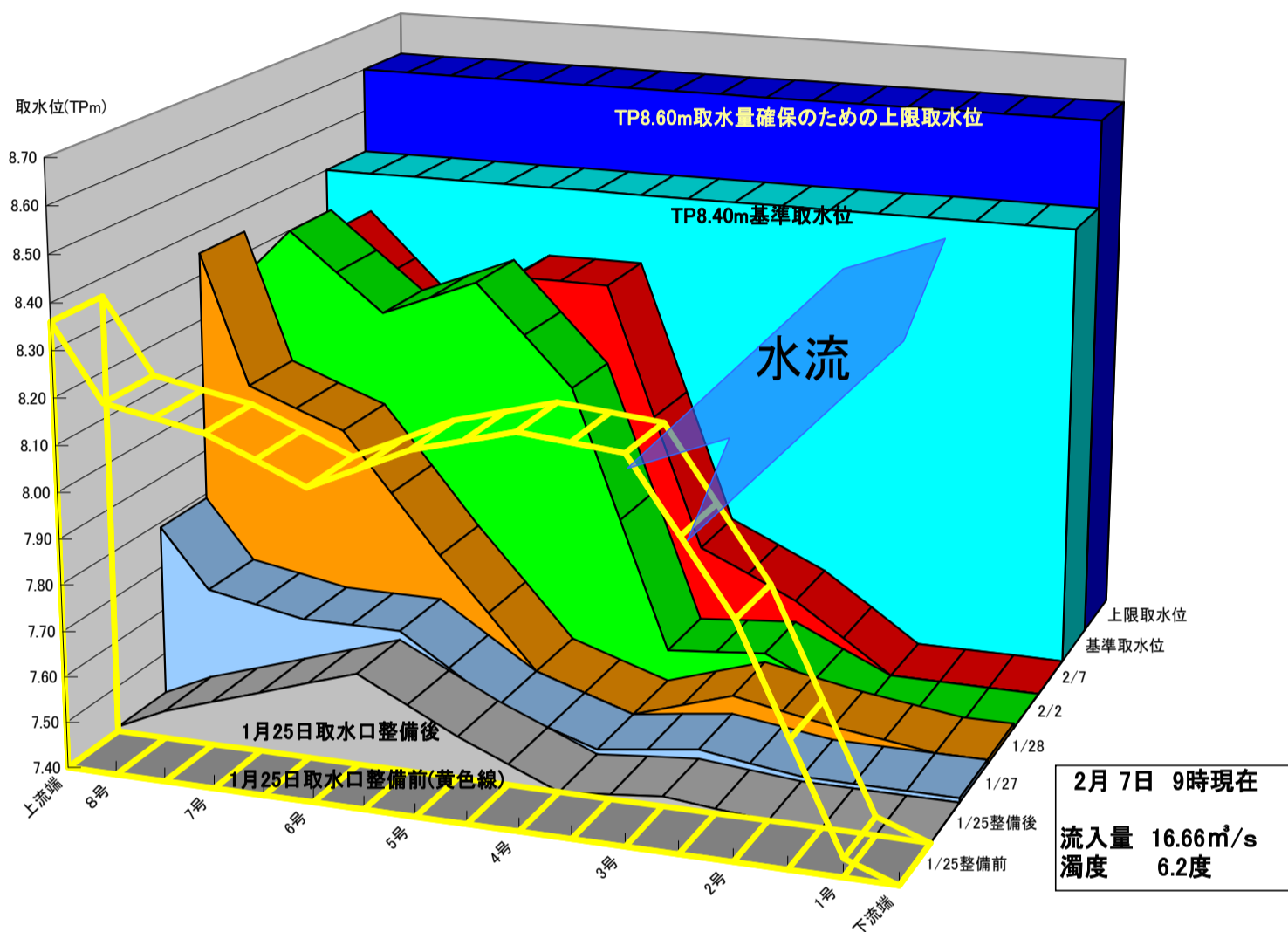


③ 飯泉取水口前部の堆積土砂量の推移

1月25日の土砂移動作業後においても、取水口前の堆積土砂は日々増加しています。

また、今後の酒匂川上流部の水源地における復旧工事や気象状況如何によっては、堆積土砂の増加が懸念されます。

取水口前部の堆積土砂量の推移



(注) 上の図は、河川側から取水口正面を見た図で、日毎の堆積土砂量の推移を表示しています。